

第4号様式（第10条関係）

会 議 録

会 議 名	令和8年度第1回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	令和8年4月30日（木）午後7時～8時10分
開 催 場 所	中部地区会館（市役所4階）403集会室
出 席 者	出席者：田中委員（座長）、瀬口委員（副座長）、吉澤委員、酒井委員、米光委員、大野委員、加藤委員、末木委員、雨宮委員、鈴木委員 事務局：協働推進課長、協働推進課係長、協働推進課主事 オブザーバー：ボランティア・市民活動センターセンター長・同センター長補佐 欠席者：なし
議 題	1 武蔵村山市協働事業提案制度令和7年度実施事業評価報告書の作成について 2 武蔵村山市協働事業提案制度令和9年度実施事業募集要項について 3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度令和7年度実施事業評価報告書の作成について 令和7年度実施事業の事業評価を決定した。 議題2 武蔵村山市協働事業提案制度令和9年度実施事業募集要項について 指摘箇所を修正することとした上で、事務局案を承認した。 議題3 その他 事業評価に関する今後の流れ及び委員の任期について確認した。
審 議 経 過 (発信者) ◎印：座長 ○印：委員 □印：オブザーバー ●印：事務局	*会議に先立ち、オブザーバーの同席を承認した。 *武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針に基づき、議題1を非公開とすることとした。 議題1 武蔵村山市協働事業提案制度令和7年度実施事業評価報告書の作成について (傍聴人退室) —非公開— (傍聴人入室) 議題2 武蔵村山市協働事業提案制度令和9年度実施事業募集要項について —議題2について、事務局から説明— ◎ 募集要項2ページの目的の欄に「社会的課題」とあるが、今では「社会課題」と表現しており、「的」は不要である。

審 議 経 過

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

□印：オブザーバー

●印：事務局

また、5ページの行政テーマについて、現在庁内調査を実施中とのことだが、募集要項の公表までに、何か良い提案は挙がりそうか。

- 現時点では、まだ提案がない状況である。
- 昨年度、市民活動団体からの応募が1件しかなかった原因について、制度の周知が足りなかったのか、それとも応募の条件が厳し過ぎるのかと議論があったが、それを踏まえての改善点はあるか。
- 協働事業を実施できる団体が少なくなっているのではないかとこの点については、すぐに改善は難しいが、広報については、積極的に行っていきたいと考えている。
- ◎ 様々な活動をしているNPOや市民活動団体に直接声を掛けたり、そういった団体を通じて他の団体に声を掛けてもらう等、何か繋がりを生かすようなことは考えているか。
- 協働推進課では、例えばNPOネットワークの会議等、各種会議に参加させていただいている。そういった会議に出席した際に、本制度の紹介や周知をさせていただければと考えている。
- 10ページ上段の二重線の部分について、「市長が認める場合においては、採択事業として決定できない場合もあります。」とあるが、「市長が認めなければ採択事業として決定できない」や「市長の判断により採択事業として決定できない場合もある」等、表現方法を工夫した方が良くと思う。
- 表現方法の見直しをさせていただく。
- 後段の理由により採択事業として認めないというのは、相当の理由が必要なのではないか。
- ◎ 今、オブザーバーのボランティア・市民活動センターの方から話があったが、2015年（平成27年）に、1件採択事業として決定されなかったことがあるとのことである。
- 手元の資料によると、平成27年度は、団体から7件の提案があり、うち2件が辞退したと記録されている。
- 先ほど、NPOの集まりの場で広報するとの話があったが、可能であれば、なぜこの制度を活用しないのか、について確認していただきたい。その回答を、要件を見直すきっかけにしたいと思う。
- どこまでできるかは定かではないが、もし意見をいただけるようであれば、伺いたいと考えている。
- 見直しを行い、何度も要件緩和をしているにもかかわらず、提案団体は年々減少している。その理由がわからないと今後の見直しもできないと思うので、是非お願いしたい。
- ◎ 団体育成コースの3年間で180万円というのは、他市と比べても破格の金額である。この制度を知っていただき、是非積極的に応募していただきたい。皆様も積極的に声をかけていただければと思う。
- 応募が減少している理由について、同じ事業で再度提案することができないことから、提案できる団体がいなくなっているのではないかと感じている。1年間に6つも7つも提案事業があった時代があり、これだけの年数が経過してしまうと、恐らく提案できる団体は、既に制度を活用してしまっていると思われる。
一方で、要件の緩和として、同じ事業でも提案できるようにするというのも難しい。
新たな団体が出てくるような働きかけも必要となるが、現状、本制度を活用できる団体は活用し尽くしているという部分も考慮に入れて考えた方が良く思う。

審 議 経 過

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

□印：オブザーバー

●印：事務局

□ 団体が行っている活動は変わらないので、1度応募してしまうと、次のチャレンジができない。次にチャレンジするには、違う活動を考えなければならないとなると、難しいところはあると思う。

□ 市政参加型に限った話になるが、ある宗教法人が、多摩地域市民活動助成金という助成金を出している。昨年度は、自治会の秋祭りに20万円、市民の買い物支援をしているところに15万円、市内にプロの合奏団をとということで、武蔵村山さくら合奏団に20万円が出ている。

ニーズはある。では、なぜこちらの制度は選ばれずに宗教法人の助成金を選ぶのか。まず1つは、ハードルが低い点である。例えば、5万円以下の領収書は提出しなくて良い事になっている。公金を使っている以上仕方がないが、1円単位まで全て領収書を提出しなければならないのは、団体としては大変である。

次に、武蔵村山さくら合奏団からは、昨年度、協働事業としての提案があったが、「プロ」という言葉が引っかかり、受け付けることができなかった。

我々は、公平にどちらが団体にとって良いのかを考え提案しているが、最終的に助成金の方が選ばれてしまっている。ニーズがあるにもかかわらず、こちらの制度が活用されない理由には、いろいろな側面があると思っている。

○ 私は、毎年、この制度を利用するかどうか悩んでいる。しかし、NPO団体は、既にある程度の事業を持っており、もう一つ別の事業をやるだけの枠があるか、というところで、最終的には、現在の事業をメインでやっていこうということになってしまっている。

「もっとこういうことをやりたい」という気持ちはあるが、協働事業としてもう一つ事業を行うというのは、ハードルがとても高い。他の子育て団体の皆様も、既に活動されているので、なかなか厳しいのではないかと思う。

市からの補助金は、色々な面で細かくなってしまいうのは仕方のないことだが、私達ももっと力を出して色々やっていきたいという気持ちは持っているので、もう少しハードルを下げただけだと良いと思っている。

◎ それでは、先ほど表現についての意見はあったが、議題2について、事務局案のとおり承認することに異議はないか。

○ (一同) 異議なし

◎ 議題2については、事務局案のとおりとする。

なお、委員から指摘のあった箇所については、表現等を修正していただきたい。

議題3 その他

— 議題3について、事務局から説明 —

◎ 令和7年度実施事業評価報告書については、委員に書面で確認依頼をすることだが、時期はいつ頃になるか。

● 5月か6月には、皆様に確認をお願いする予定である。

◎ 事務局から説明があったとおり、現委員での会議は本日が最後の予定である。委員の皆様には、2年間、委員として携わっていただいた御意見や感想を一言ずつお願いしたい。

○ この会議に出席し、何かできることはないかと考えるようになった。2年間、プレーパークに携わらせていただいた。子どもが小さ

審 議 経 過

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

□印：オブザーバー

●印：事務局

ければ、きっと行きたがったと思う。武蔵村山市の自然を生かしている事業でもあり、武蔵村山市の子ども達のために、引き続き頑張っていたきたいと思う事業であった。

○ ストック型ではなくフロー型の事業であり、活動団体を見つけながらというのは大変なところではあるが、協働推進を言葉どおり推進していければいいと思う。

○ NPOで子育て団体をやっているが、委員の皆様がいろいろ話し合い、考えてくださっているのを知り、今やりたいと思っていることを少し前向きに考えて、この先やっていこうかと思っている。

○ 私の子どもはもう30代で、子育ての仕方も変わっているのかと思っていたが、実際にプレーパークに行き、昔ながらの遊びを続けているのを見てほっとした。子ども達の元気な姿を見て、この事業に携わることができて良かったと思っている。

○ 武蔵村山市に住んで30年になるが、こういう活動に詳しくなく、市報をたまに見るくらいだったが、活動のことがいろいろわかり、関心を持ってホームページ等を見るようになった。こういう活動は必要だと思うので、今後もぜひ続けていっていただきたいと思う。

○ 私は、まだこの事業が立ち上がって間もないころから携わらせていただき、8年目になる。行政の仕事は、どうしても一般的で汎用性の高いものになってしまうが、市民活動団体が、行政の手の届かない部分の活動をされていることから、市民活動団体と行政が手を取り合い、市民サービスの向上を推進していくのは、非常に意味があることだと考えている。

○ このプレーパークに、不登校の子が来ていたと、議員が嬉しそうに話していた。不登校の子が多くなっているが、彼らを見てみると、個人的に話すと話せるが、集団になると話せない子ども達も多い。そういう子ども達が参加できる、また、その機会を作ってもらえたということが、とても嬉しい。行政の手が届かないところを、皆さんに助けていただいていることを非常にありがたく思っている。

○ 今回、プレーパークについて具体的に話を伺ったわけだが、子ども達と保護者が集まる場として考え、色々なところとコラボレーションできるのではないかと、もっと広がりを持てるのではないかと等、様々な支援の仕方もあるのではないかと、そういったことを考える機会もいただけたと思っている。

○ 私は、もう10年ぐらいこの会議に参加させていただいている。いろいろな団体の審査に関わったが、多分、まだ掘り起こせていないニーズがきっとあると思う。応募を待つのではなく、こちらから聞きに行き、ニーズを掘り起こす方法があればいいと思う。

◎ 私も、最初からこの委員会に携わって8年目になる。私は小金井市で、このような事業をやらせていただいている。小金井市では、毎年、市役所に勤めて3年くらいの方に、市民団体派遣研修を行っている。これは市役所の職員が、NPOの現場に行き、NPOとして仕事をするというものである。研修参加者は、たくさんの新たな気づきを持って市に戻ってくる。また、参加者同士がお互いの交流を深めたり、他の仕事を知ることにもなるという利点がある。

しかし、その成果が出始めたのは最近のことである。この派遣研修の出身者が市民協働推進課の課長さんになられたことから、NPOと市の間の話が通りやすいというわけである。しかしながら、これにはかなりの時間がかかるということを理解して、武蔵村山市で

	<p>も少しずつ、市と市民団体との協働を進めていただければありがたいと思っている。</p> <p>◎ 以上をもって、令和8年度第1回武蔵村山市市民協働推進会議を閉会する。</p>
<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input type="checkbox"/> 公開</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>〔 事業の評価過程を明らかにすることで、公正な事務を行えなくなるおそれがあるため 〕</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 1人</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/> 開示</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例 第8条第5号）</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____）</p>
<p>庶務担当課</p>	<p>協働推進部 協働推進課（内線：242）</p>

（日本産業規格A列4番）